

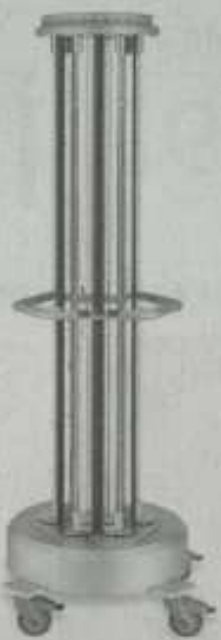
紫外線殺菌装置を販売

山科精器 台湾社と代理店契約

【大津】山科精器（滋賀県栗東市、大日陽一郎社長、077・558・2311）は、台湾の医療機器メーカーのメディアランドと代理店契約を結び、紫外線（UV）殺菌装置「ハイパー ライト」の販売を始めた。手術室や検査室の殺菌に役立つ。新型コロナウイルスなども99・99%不活化できるといふ。価格はオープンで980万円程度（消費税抜き）。医療機関や学校など、初年度10台の販売を見込む。

ウイルス99・99%不活化

DNA、RNAウイルスなどの効果のある紫外線を照射、10～15分



紫外線殺菌装置「ハイパー ライト」

属病院が確認している。同装置は中国やインドなどで院内感染防止のための清掃などで採用が進んでいる。

山科精器では吸引管など外科用器具、内視鏡用器具などを展開している。同装置とあわせて手術室の効率化や安全性を高めることで、医療事業拡大につなげたい考え。紫外線を使った殺菌装置の需要は今後も増える見えて、21年には車内用の殺菌装置などラインアップを増やす。

で99・99%を不活化する。装置はキャスターで移動でき、半径3メートル以内のウイルスや細菌を不活化、殺菌する。本体サイズは直径710ミリ、高さが1540ミリ。効果は第三者認証機関のスイスのSGSが検証し、台湾の長庚大学や台湾大学付